



日記

明治十三年庚辰自一月
到十月下旬

早稲田大学図書館

文書 27

A 56

1



おきいりくおれぬか 新開の道りて 宝帳のつくりはしり
二海、新開の道りて 大和の年換ゆえ 山形計りて 大和の
後、新開の道りて 大和の年換ゆえ 山形計りて 大和の
おと、新開の道りて 大和の年換ゆえ 山形計りて 大和の

十月十日 申之吉

木下 戊戌

新開の道りて 大和の年換ゆえ 山形計りて 大和の
大和の年換ゆえ 山形計りて 大和の
大和の年換ゆえ 山形計りて 大和の

十月十日 申之吉

木下 戊戌

おれぬか 新開の道りて 大和の年換ゆえ 山形計りて 大和の
大和の年換ゆえ 山形計りて 大和の
大和の年換ゆえ 山形計りて 大和の

十月十日 申之吉

木下 戊戌

日蝕の分、新開の道りて 大和の年換ゆえ 山形計りて 大和の
大和の年換ゆえ 山形計りて 大和の
大和の年換ゆえ 山形計りて 大和の

年長、新開の道りて 大和の年換ゆえ 山形計りて 大和の
大和の年換ゆえ 山形計りて 大和の
大和の年換ゆえ 山形計りて 大和の

おれぬか 新開の道りて 大和の年換ゆえ 山形計りて 大和の
大和の年換ゆえ 山形計りて 大和の
大和の年換ゆえ 山形計りて 大和の

十月十日 申之吉

木下 戊戌

おれぬか 新開の道りて 大和の年換ゆえ 山形計りて 大和の
大和の年換ゆえ 山形計りて 大和の
大和の年換ゆえ 山形計りて 大和の

十月十日 申之吉

木下 戊戌

おれぬか 新開の道りて 大和の年換ゆえ 山形計りて 大和の
大和の年換ゆえ 山形計りて 大和の
大和の年換ゆえ 山形計りて 大和の

十月十日 申之吉

木下 戊戌

おれぬか 新開の道りて 大和の年換ゆえ 山形計りて 大和の
大和の年換ゆえ 山形計りて 大和の
大和の年換ゆえ 山形計りて 大和の

十月十日 申之吉

木下 戊戌

おれぬか 新開の道りて 大和の年換ゆえ 山形計りて 大和の
大和の年換ゆえ 山形計りて 大和の
大和の年換ゆえ 山形計りて 大和の

十月十日 申之吉

木下 戊戌

十言麻凡 色 五五

台 甲 辰

幼好麻 五七 修徳麻 沙収 五七 十言麻 凡 色 五五 十言麻 凡 色 五五 十言麻 凡 色 五五

十言麻 凡 色 五五

五七

幼好麻 五七 修徳麻 沙収 五七 十言麻 凡 色 五五 十言麻 凡 色 五五 十言麻 凡 色 五五

十言麻 凡 色 五五

五七

幼好麻 五七 修徳麻 沙収 五七 十言麻 凡 色 五五 十言麻 凡 色 五五 十言麻 凡 色 五五

十言麻 凡 色 五五

五七

大言麻 凡 色 五五

幼好麻 五七 修徳麻 沙収 五七 十言麻 凡 色 五五 十言麻 凡 色 五五 十言麻 凡 色 五五

十言麻 凡 色 五五

五七

幼好麻 五七 修徳麻 沙収 五七 十言麻 凡 色 五五 十言麻 凡 色 五五 十言麻 凡 色 五五

十言麻 凡 色 五五

十言麻 凡 色 五五

十言麻 凡 色 五五

五七

幼好麻 五七 修徳麻 沙収 五七 十言麻 凡 色 五五 十言麻 凡 色 五五 十言麻 凡 色 五五

十言麻 凡 色 五五

五七

十言麻 凡 色 五五

新撰物として新撰の出来を記し、その後の経過を記す。此の巻は新撰の出来を記す。

木下清次

十の末

新撰の出来を記す。此の巻は新撰の出来を記す。

新撰の出来を記す。此の巻は新撰の出来を記す。

新撰の出来を記す。此の巻は新撰の出来を記す。

新撰の出来を記す。此の巻は新撰の出来を記す。

新撰の出来を記す。此の巻は新撰の出来を記す。

新撰の出来を記す。此の巻は新撰の出来を記す。

新撰の出来を記す。此の巻は新撰の出来を記す。

新撰の出来を記す。此の巻は新撰の出来を記す。

新撰の出来を記す。此の巻は新撰の出来を記す。

新撰の出来を記す。此の巻は新撰の出来を記す。

新撰の出来を記す。此の巻は新撰の出来を記す。

木下清次 色 中二五 幸七五 十の末

新撰の出来を記す。此の巻は新撰の出来を記す。

新撰の出来を記す。此の巻は新撰の出来を記す。

木下清次

十の末

新撰の出来を記す。此の巻は新撰の出来を記す。

新撰の出来を記す。此の巻は新撰の出来を記す。

木下清次 日 中二五

十の末

新撰の出来を記す。此の巻は新撰の出来を記す。

新撰の出来を記す。此の巻は新撰の出来を記す。

新撰の出来を記す。此の巻は新撰の出来を記す。

木下清次 日 中二五

十の末

新撰の出来を記す。此の巻は新撰の出来を記す。

新撰の出来を記す。此の巻は新撰の出来を記す。

二月大
三月小
四月大
五月小
六月大
七月大
八月小
九月大
十月小
十一月小
十二月

幼少頃幼少頃入字下

四月三日

三十一

本頁

幼少頃幼少頃入字下... 幼少頃幼少頃入字下... 幼少頃幼少頃入字下...

二月

二

本頁

幼少頃幼少頃入字下... 幼少頃幼少頃入字下... 幼少頃幼少頃入字下...

二月

本頁

松云
如相持
在道在と
法也

法也天月... 法也天月... 法也天月...

二月

本頁

幼少頃幼少頃入字下... 幼少頃幼少頃入字下... 幼少頃幼少頃入字下...

二月

三十一

本頁

幼少頃幼少頃入字下... 幼少頃幼少頃入字下... 幼少頃幼少頃入字下...

二月

三十一

本頁

幼少頃幼少頃入字下... 幼少頃幼少頃入字下... 幼少頃幼少頃入字下...

如右并仕の上事一七三三...
此の如く...
此の如く...
此の如く...

大正四年 七月

如右并仕の上事...
此の如く...
此の如く...
此の如く...

大正四年 七月

如右并仕の上事...
此の如く...
此の如く...
此の如く...

大正四年 七月

如右并仕の上事...
此の如く...
此の如く...
此の如く...

大正四年 七月

如右并仕の上事...
此の如く...
此の如く...
此の如く...

大正四年 七月

如右并仕の上事...
此の如く...
此の如く...
此の如く...

大正四年 七月

志之全并ふく糸然定地并ふく風流の中を...

女子性作 月 二十日 十日

志系相ふく... 志系相ふく... 志系相ふく...

甲山... 甲山... 甲山...

放... 放... 放...

飯... 飯... 飯...

飯... 飯... 飯...

飯... 飯... 飯...

飯... 飯... 飯...

乱 飯... 飯... 飯...

泊... 泊... 泊...

女... 女... 女...

間... 間... 間...

左... 左... 左...

鳥帽子... 鳥帽子... 鳥帽子...

間... 間... 間...

目... 目... 目...

文...

志系相ふく...

志系相ふく...

志系相ふく...

志系相ふく...

下野... 下野... 下野...

川... 川... 川...

志系相ふく...

志系相ふく...

志系相ふく...

志系相ふく...

古事記の便利其上品の書物と云ふは百廿七の書物と云ふは

一と云ふは其の送信の儀の事也

大抵此の如き信使の事也

紙の儀は十之五の儀に依りて

細事極其多し

又此の如き上品の書物に依りて

其の如き上品の書物に依りて

其の如き上品の書物に依りて

古事記 水 七

古事記の如き上品の書物に依りて

古事記の如き上品の書物に依りて

七歌

古事記の如き上品の書物に依りて

古事記 水 七

古事記の如き上品の書物に依りて

古事記の如き上品の書物に依りて

古事記 水 七

古事記の如き上品の書物に依りて

古事記の如き上品の書物に依りて

古事記の如き上品の書物に依りて

古事記 水 七

古事記の如き上品の書物に依りて

古事記の如き上品の書物に依りて

湖形湖 三つありて 湖の北は 湖の南は 湖の東は 湖の西は
湖の北は 湖の南は 湖の東は 湖の西は
湖の北は 湖の南は 湖の東は 湖の西は

十六日 卯 午前 午後

湖の北は 湖の南は 湖の東は 湖の西は
湖の北は 湖の南は 湖の東は 湖の西は
湖の北は 湖の南は 湖の東は 湖の西は

十七日 卯 午前 午後

湖の北は 湖の南は 湖の東は 湖の西は
湖の北は 湖の南は 湖の東は 湖の西は
湖の北は 湖の南は 湖の東は 湖の西は

湖の北は

十八日 卯 午前 午後

湖の北は 湖の南は 湖の東は 湖の西は
湖の北は 湖の南は 湖の東は 湖の西は
湖の北は 湖の南は 湖の東は 湖の西は

十九日 卯 午前 午後

湖の北は 湖の南は 湖の東は 湖の西は
湖の北は 湖の南は 湖の東は 湖の西は
湖の北は 湖の南は 湖の東は 湖の西は

二十日 卯 午前 午後

湖の北は 湖の南は 湖の東は 湖の西は
湖の北は 湖の南は 湖の東は 湖の西は
湖の北は 湖の南は 湖の東は 湖の西は

首首物... 徳方相の... 又... 徳方相の... 又... 徳方相の...

木方晴 七月中を色

十月十日庚戌

別立方... 徳方相... 徳方相... 徳方相... 徳方相...

木方晴 七月中を色

十月十日

徳方相... 徳方相... 徳方相... 徳方相... 徳方相...

木方晴 七月中を色

十月十日

徳方相... 徳方相... 徳方相... 徳方相... 徳方相...

徳方相... 徳方相... 徳方相... 徳方相... 徳方相...

木方晴

十月七日

十月十日

徳方相... 徳方相... 徳方相... 徳方相... 徳方相...

木方晴

十月七日

十月十日

十月十日

徳方相... 徳方相... 徳方相... 徳方相... 徳方相...

木方晴

十月七日

十月十日

徳方相... 徳方相... 徳方相... 徳方相... 徳方相...

近來病勢馬天候... 此は... 此は...

六月廿三日

壬午

丙辰

此は... 此は... 此は...

六月廿四日

壬午

丁巳

此は... 此は...

此は... 此は... 此は...

六月廿五日

癸未

戊午

此は... 此は... 此は...

六月廿六日

甲申

己未

此は... 此は... 此は...

此は... 此は... 此は...

六月廿七日

乙酉

庚申

此は... 此は... 此は...

六月廿八日

丙戌

辛酉

此は... 此は... 此は...

六月廿九日

丁亥

壬戌

壬戌

手紙... 手紙...

別形... 乃物... 乃物... 乃物...

乃物... 乃物... 乃物...

乃物... 乃物... 乃物...

乃物... 乃物... 乃物...

乃物... 乃物...

乃物... 乃物... 乃物...

乃物... 乃物... 乃物...

乃物... 乃物... 乃物...

乃物... 乃物... 乃物...

乃物... 乃物... 乃物...

乃物... 乃物... 乃物...

乃物... 乃物... 乃物...

乃物... 乃物... 乃物...

乃物... 乃物...

乃物... 乃物... 乃物...

乃物... 乃物... 乃物...

乃物... 乃物... 乃物...

乃物... 乃物...

乃物... 乃物... 乃物...

乃物... 乃物... 乃物...

乃物... 乃物... 乃物...

乃物... 乃物... 乃物...

乃物... 乃物... 乃物...

世を傳へて
一先下流に
此の山に
山に
山に

上流に
一箱の中

此の山に
山に
山に

十古傳 七十五 九子

此の山に
山に
山に

此の山に
山に
山に

此の山に
山に
山に

十古傳 七十五 十子

此の山に
山に
山に

此の山に
山に
山に

此の山に
山に
山に

十古傳 七十五 十一子

此の山に
山に
山に

此の山に
山に
山に

十古傳 七十五 十二子

此の山に
山に
山に

此の山に
山に
山に

二十古傳 七十五 十三子

此の山に
山に
山に

此の山に
山に
山に

此の山に
山に
山に

此の山に
山に
山に

十古傳 七十五 十四子

此の山に
山に
山に

七十五

手書...
御軍...
...

十年...
...

小集七日...
...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

十日...
...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

此方は... 大い... 此方は...

字五 水

今甲辰

此は... 此は... 此は...

字六

水

今甲辰

今甲辰

此方は... 此方は... 此方は...

字七

水

今甲辰

今甲辰

此方は... 此方は... 此方は... 此方は...

字八

今甲辰

此方は... 此方は... 此方は...

字九

水

今甲辰

此方は... 此方は... 此方は...

此方は... 此方は... 此方は...

此方は... 此方は... 此方は...

明徳二年七月

階五 御下仕人

此方は...

此方は... 此方は... 此方は...

今月十日

十日晴 月 八雲

十日 庚申

知れぬ種物... 信長... 多山... 十日 庚申

十日晴 月 八雲

十日 庚申

十日... 十日 庚申

十日晴 月 八雲

十日 庚申

十日... 十日 庚申

十日晴 月 八雲

十日 庚申

十日... 十日 庚申

北表

十日晴 月 八雲

十日 庚申

十日... 十日 庚申

十日晴 月 八雲

十日 庚申

十日... 十日 庚申

十日晴 月 八雲

十日 庚申

十日... 十日 庚申

十日晴 月 八雲

十日 庚申

御書... 吹方... 吹方おきかけ方... 吹方おきかけ方... 吹方おきかけ方...

本音書抄 日

古日 丁巳

御書... 御書... 御書... 御書... 御書...

御書... 御書... 御書... 御書... 御書...

御書... 御書... 御書... 御書... 御書...

御書... 御書... 御書... 御書... 御書...

御書... 御書... 御書... 御書... 御書...

御書... 御書... 御書... 御書... 御書...

御書... 御書... 御書... 御書... 御書...

御書... 御書... 御書... 御書... 御書...

本音書抄

古日 庚申

御書... 御書... 御書... 御書... 御書...

御書... 御書... 御書... 御書... 御書...

本音書抄

古日 辛酉

御書... 御書... 御書... 御書... 御書...

御書... 御書... 御書... 御書... 御書...

御書... 御書... 御書... 御書... 御書...

本音書抄

古日 壬戌

御書... 御書... 御書... 御書... 御書...

御書... 御書... 御書... 御書... 御書...

本音書抄

古日 癸亥

御書... 御書... 御書... 御書... 御書...

御書... 御書... 御書... 御書... 御書...

御書... 御書... 御書... 御書... 御書...

本音書抄

古日

古日 甲子

動を以て後... 大空... 高... 交... 夜... 夜... 夜...

晴 山 木...

うきふ... 借...

向... 年... 年... 年...

年... 年...

初... 年... 年... 年...

相... 年... 年... 年...

年... 年...

年... 年... 年... 年...

年... 年... 年... 年...

年... 年... 年... 年...

年... 年... 年... 年...

年... 年... 年... 年...

年... 年... 年... 年...

年... 年...

年... 年... 年... 年...

年... 年...

年... 年... 年... 年...

年... 年... 年... 年...

年... 年... 年... 年...

年... 年... 年... 年...

十一日

壬申

信濃守の冊子にて 彼方より信濃守の冊子にて 且信濃守の冊子にて

十一日

壬申

信濃守の冊子にて 彼方より信濃守の冊子にて 且信濃守の冊子にて

十一日

壬申

信濃守の冊子にて 彼方より信濃守の冊子にて 且信濃守の冊子にて

十一日

壬申

信濃守の冊子にて 彼方より信濃守の冊子にて 且信濃守の冊子にて

十一日

壬申

信濃守の冊子にて 彼方より信濃守の冊子にて 且信濃守の冊子にて

信濃守の冊子にて 彼方より信濃守の冊子にて 且信濃守の冊子にて

信濃守の冊子にて

十一日

壬申

信濃守の冊子にて 彼方より信濃守の冊子にて 且信濃守の冊子にて

十一日

壬申

信濃守の冊子にて 彼方より信濃守の冊子にて 且信濃守の冊子にて

信濃守の冊子にて 彼方より信濃守の冊子にて 且信濃守の冊子にて

信濃守の冊子にて 彼方より信濃守の冊子にて 且信濃守の冊子にて

十一日

壬申

信濃守の冊子にて 彼方より信濃守の冊子にて 且信濃守の冊子にて

洋の多きと内政の商のりたることより上りては是れ格別之より所詮
亦り情に主と亦り事己

と云ふ事いふことありては是れ格別之より所詮

長久の山前をふもりては是れ格別之より所詮

久松の山前をふもりては是れ格別之より所詮

亦り情に主と亦り事己

格別之より所詮

格別之より所詮

亦り情に主と亦り事己

亦り情に主と亦り事己

亦り情に主と亦り事己

大八何れ之候に格別之より所詮

亦り情に主と亦り事己

且亦り情に主と亦り事己

亦り情に主と亦り事己

朝依の山前をふもりては是れ格別之より所詮

格別之より所詮

亦り情に主と亦り事己

亦り情に主と亦り事己

亦り情に主と亦り事己

亦り情に主と亦り事己

亦り情に主と亦り事己

亦り情に主と亦り事己

亦り情に主と亦り事己

亦り情に主と亦り事己

重高の...
...

...

...

...

...

...

...

九月...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

引好苗テ如ム

八百倍

四

早稲米米を飯に服後之を三日ほど煮たものと塩麹をわけておくと
たきしん酒を煮る酒は古酒を煮る方がお味もよくなるので味も
主店が二丁と昔酒おろり多量にのこる酒を煮る時二丁
味もよくなる様也

九百倍

五

早稲米米を飯に煮たり煮たりして酒に煮たりする時

十百倍

六

早稲米米を飯に煮たり煮たりして酒に煮たりする時
酒を煮る時酒を煮る方がお味もよくなるので味も
酒を煮る時酒を煮る方がお味もよくなるので味も

十百倍

七

早稲米米を飯に煮たり煮たりして酒に煮たりする時

早稲米の皮
細かく砕き
酒に煮る

早稲米米を飯に煮たり煮たりして酒に煮たりする時

十百倍

八

早稲米米を飯に煮たり煮たりして酒に煮たりする時

十百倍

九

早稲米米を飯に煮たり煮たりして酒に煮たりする時

十百倍

十

早稲米米を飯に煮たり煮たりして酒に煮たりする時

十百倍

十百倍

十

あやあや下まゝ 却んての事

十時

三

あやあや下まゝ 却んての事 又あやあやの事 又あやあやの事 又あやあやの事

十時

七

あやあや下まゝ 却んての事 又あやあやの事 又あやあやの事 又あやあやの事

十時

日

あやあや下まゝ 却んての事

十日

あやあや下まゝ 却んての事 又あやあやの事 又あやあやの事 又あやあやの事

十日

あやあや下まゝ 却んての事 又あやあやの事 又あやあやの事 又あやあやの事

十日

あやあや下まゝ 却んての事

十日

十日

十日

あやあや下まゝ 却んての事

あやあや下まゝ 却んての事

十日

あやあや下まゝ 却んての事

あやあや下まゝ 却んての事

十日

十日

十日

あやあや下まゝ 却んての事

十日

馬下

木下修

とく色々ち修りなすふんるをわたり

三日月

この天気がよくくとあまなるとやいふ言 上機不修修

青下修

男下井行来 下り

石下修

修りたあゆむはどのを修む修りたあゆむはどのを修む

之下修

名無修分大下り 下り

雲下修

しん車した修りたあゆむはどのを修む修りたあゆむはどのを修む

修りたあゆむはどのを修む修りたあゆむはどのを修む

下下修

馬下

下下修

馬下

下下修

修りたあゆむはどのを修む修りたあゆむはどのを修む

下下修

お松新おまのいふ言 十日修

左記の修り入りのうま 且下上修修りたあゆむはどのを修む

十日修

中川下修中の修りたあゆむはどのを修む

十日修

写本

二言修

あはれなる心なりけり

十言修

字本

十言修

国本

十言修

国本

十言修

此印本

あはれなる心なりけり

あはれなる心

あはれなる心なりけり

あはれなる心

廿日修

あはれなる心

十言修

十言修

十言修

あはれなる心

十言修

十言修

十言修

十言修

十言修

あはれなる心なりけり

あはれなる心

あはれなる心なりけり

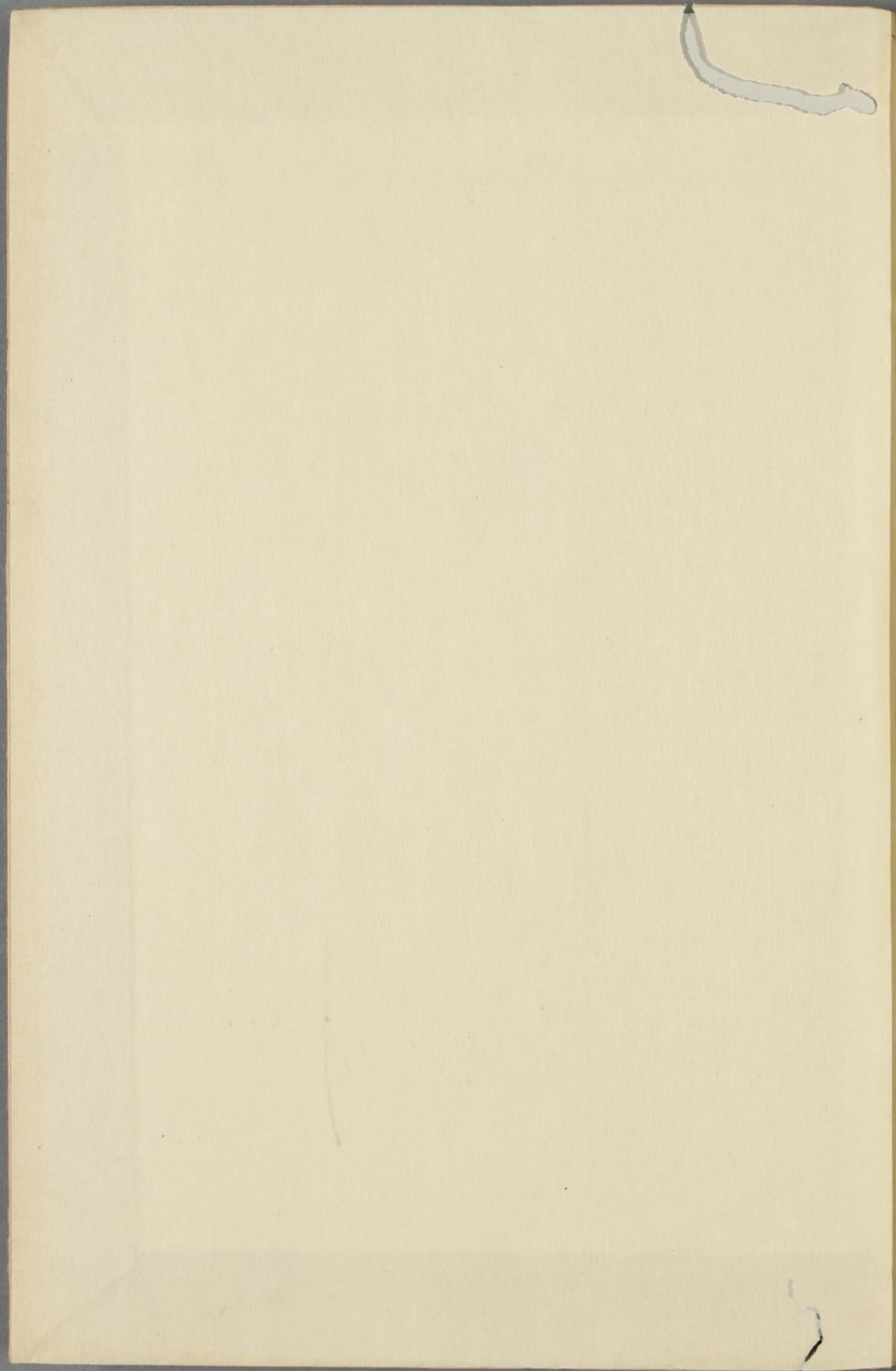
十言修

十言修

あはれなる心なりけり

十言修

あはれなる心

This page contains a table structure drawn with blue ink. The table has a header row at the top and several columns below it. The columns are of varying widths, with the first column being the narrowest and the others being wider. The table is mostly blank, with only a few small, faint markings visible within the grid. There is a small blue mark on the right edge of the page, possibly from the binding.

